



岐阜県退職公務員連盟

# 可児支部広報

令和5年度 第4号 8月28日



## 可茂地区退職教職員等の作品展 「あおぎり展」大盛会!!

8月25日(金)より27日(日)まで、可児市文化創造センターの美術ロフトにて、可茂地区の岐阜県教職員互助会退教互部主催の作品展「あおぎり展」が行われました。26日(土)に、支部長と副支部長とでお伺いし、鑑賞させていただきました。「あおぎり展」は、岐阜県退職公務員連盟可児支部が後援しています。

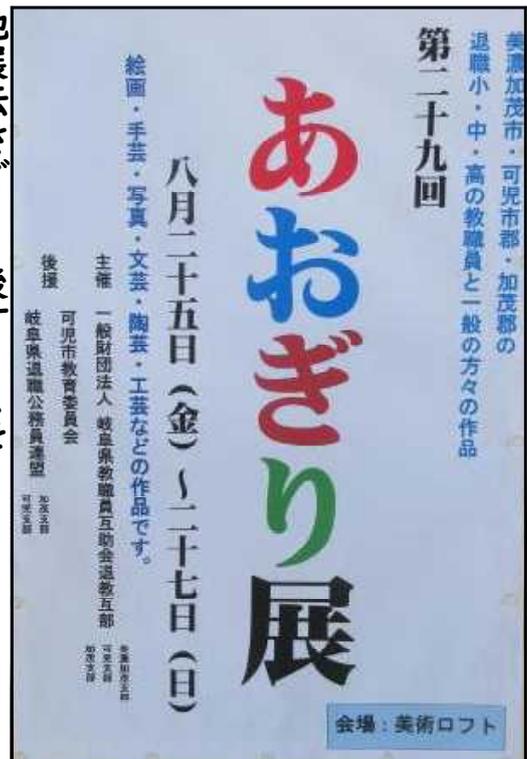
「あおぎり展」の事務局長は、退公連可児支部の若原俊和さんです。本当にお疲れ様でした。

絵画や写真、手芸、文芸、陶芸、工作、その他の素晴らしい作品102点が会場いっぱいに展示され、39名の出品者の皆さんの熱意が直に伝わってまいりました。多くの皆さんがご来場くださり、大盛会でした。出品者の皆さんも大変喜んでみえました。

この作品展は、生涯学習の一環として、退職後の教職員の皆さんが軸となって実施してみえますが、どなたでも出品できる作品展だそうです。

岐阜県退職公務員連盟可児支部の皆さんも、来年度は是非出品して下さい。ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

### 「あおぎり展」の様子(一部)





## 御嵩町尺八こども教室 15年間継続

御嵩町尺八こども教室は、御嵩町尺八こども教室実行委員会が主催し、文化庁支援伝統文化親子教室事業として実施しています。本年度で15年間継続して実施しています。練習会場は、中山道みたけ館の竹屋資料館奥座敷です。講師は岐阜市の琴古流師範中根理記さん。実行委員長は退公連可児支部の高木俊朗が務めています。

また、御嵩小学校のクラブ活動として、尺八クラブを開設していただき、中根先生が指導してみえます。御嵩町の尺八の発展のために、更に尽力していきたいと思っています。

子どもたちが使用する尺八は、制管師でもある中根先生が、御嵩町の竹で製作された尺八で、無料で貸与されます。現在は、願興寺の竹を住職から譲っていただき、製作しています。家に持ち帰って練習できるので、子どもたちの上達は早いものです。大人より早いようです。

音が出るようになるには、腹式呼吸で、柔らかく静かに息を出すことが大切です。そのために、子どもたちは上達するに従って、落ち着きのある生活が自然と送れるようになってきます。これこそ、尺八の教育的効果であると確信しています。更に、中学校の音楽の時間に学習する、日本の伝統文化の和楽器の中で、尺八は最も難しいため、教材として取り扱っている中学校はほとんどありません。その尺八をふけるということは、子どもたちの自信につながり、自分自身の誇りにつながります。国際化の中で、いろいろな場面で生かすことができます。是非多くの子どもたちが尺八の練習に励んでほしいと願っています。

今年度は、10月15日に石川県で行われる国民文化祭に、11月18日に御嵩町の音楽祭に、12月2日に岐阜県ジュニア文化祭に、来年1月5日にはサラマンカホールで行われる三曲ジュニアコンサートに出演します。応援よろしくお願い申し上げます。



▲練習会場の竹屋資料館



▲御嵩町音楽祭には毎年参加